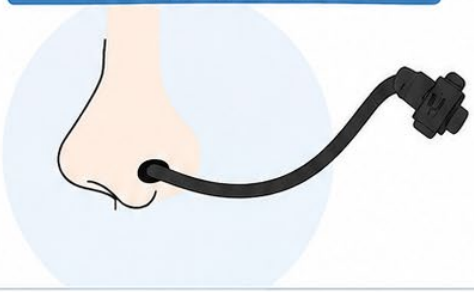
鎮静剤使用について



地震の発生に伴い、余震や新たな災害が発生する可能性があります。
当院では、受診者様の安全確保を最優先とするため、
当面の間、鎮静剤を使用しない経鼻内視鏡検査、
経口内視鏡検査をお勧めしております。

覚醒下での内視鏡検査をご希望の方は、経鼻か経口かお選びください。

経鼻内視鏡検査



経口内視鏡検査



鎮静剤を使用した内視鏡検査中または検査後に地震等が発生した場合のリスク

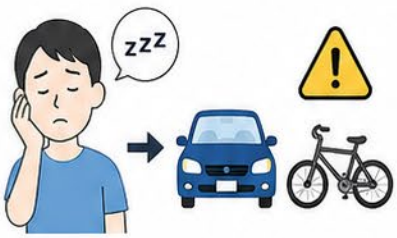
1 鎮静剤により覚醒が遅れるため、速やかな避難が困難（逃げ遅れ）となる場合があります。
また、ふらつきや転倒の危険があり、安全な避難行動に支障をきたす可能性があります。



2 検査中や検査後の出来事を記憶していないことがあり、災害時に危険な状況を適切に認識・判断できない場合があります。



3 覚醒を促す拮抗薬を使用した場合でも、薬剤の作用時間の違いにより再度眠気が生じることがあります。そのため、退館行動や移動、自動車・自転車の運転などは通常時より危険を伴います。



鎮静剤の使用をご希望の方は、当日スタッフへご相談ください。

受診者様の安全を最優先に考えた対応となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。